

普及活動情勢報告（令和5年4月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

作付け前に要点チェック！ ～ぼたなす栽培準備会～



管理ポイントを説明する
普及指導員

3月23日、室戸市の日南・大平地区集落活動センター「ひなたぼっこ」は生産者7名を対象に、ぼたなす栽培準備会を開催しました。農業改良普及課室戸支所は、4月から始まるぼたなす栽培に向けて、本ぼの準備から収穫、病害虫管理などのポイントを指導しました。県内外からの注文が年々増加しており、生産者からは「今年はたくさん取れるように頑張る」と意気込みを見せていました。農業改良普及課室戸支所は今後も日南ぼたなすの生産振興に向けて指導、支援を続けていきます。

発芽期はやや早め ～ユズの発芽調査を実施～



発芽状況を確認する普及指導員

農業改良普及課では、毎年3月末から4月にかけてユズの発芽調査を実施しています。

調査では、JA営農指導員とともに、JA高知県安芸地区管内の4市町村計19園地の調査圃場を巡回し、圃場ごとの発芽期を調査しています。

令和5年の管内におけるユズの発芽期については、地区によるばらつきが見られるものの、平均すると4月7日ごろと、平年から6日程度早い発芽期となりました。

今後は、発芽調査結果とともにユズの生育状況や開花期以降の防除について、JA部会員向けに配布している「ユズ栽培管理だより」や各支部講習会で周知するなど、春先の防除の徹底について指導していきます。

「SAWACHI」は生産者との共作！ ～IoP農業研究会ナスワーキンググループ～



実証システムへのログイン
をサポートする普及指導員

3月29日、IoP農業研究会ナスワーキンググループが、安芸集出荷場で定例会を開催し、生産者6人が参加しました。農業改良普及課および農業技術センターは「生理生態情報の見える化」に向けた実証システムの使い方を説明し、システムへのログインをサポートしました。

参加者からは生理生態情報システムの「SAWACHI」への実装を見据えた画面構成やコンテンツに関する意見が挙がりました。

農業改良普及課は、今後も「SAWACHI」のさらなる展開や機能向上に向け、生産者や研究機関と共にグループ活動に取り組みます。

安田町中山地区のシャクヤクの生産振興



生育状況を確認する生産者

JA高知県安芸地区花卉部中山支部（7戸、10名）では、シャクヤクの出荷販売に向けて、4月3日に現地検討会と勉強会を実施しました。栽培ほ場7カ所の生育状況を確認し、今後の管理について意見交換しました。今年は萌芽以降の降雨と気温が平年より高かったため、灰色かび病の発生が多く、農業改良普及課は勉強会で問題となる病害の防除対策について説明しました。

農業振興センターでは、今後も中山地区でのシャクヤク生産振興につながるよう支援をしていきます。

芸西支部ナス部会現地検討会と勉強会



栽培管理について意見交換する生産者ら

4月19日、芸西支部ナス部会が現地検討会と勉強会を開催し、部員20人が参加しました。現地検討会では生育状況や栽培管理について活発に意見交換が行われました。勉強会では、農業技術センターから単為結果性ナスの育成状況について説明を受けました。農業改良普及課は、下位側枝の摘除による省力化・効率化技術について説明しました。参加者からは、「品質の良い単為結果性ナスの育成している」、「下位側枝を摘除し省力化したい」という声が聴かれました。

農業改良普及課は、今後も栽培管理技術等の情報提供を継続し、収量・品質の向上を支援します。